

# 議会だより

3月定例会・2月臨時会



## 東日本大震災、亘理町立吉田中学校への支援奉仕活動

金ヶ瀬中学校の生徒が、男女別に分かれて、男子生徒は校舎周辺の校庭やフェンスなどに漂着した流木やがれき撤去作業、女子生徒は体育館や校舎の床などを水拭きした。

- 平成23年度の町の予算は ..... ②
- 6議員による町政への提言 ..... ⑤
- 2月臨時議会 ..... ⑩

# 増の124億円

# 72億3,078万円

## 一般会計

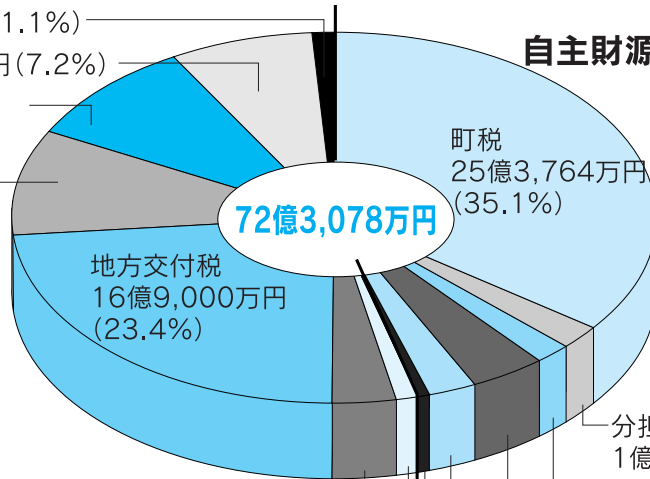
第2回定例会は、3月3日から17日までの15日間の会期で開かれた。  
今定例会では平成23年度各種会計予算の他15の提案を審議し、すべて可決している。

### 依存財源 54.2%

- その他 8,150万円(1.1%)
- 借入金 5億2,250万円(7.2%)
- 県支出金 6億5,009万円(9.0%)
- 国庫支出金 6億6,745万円(9.2%)

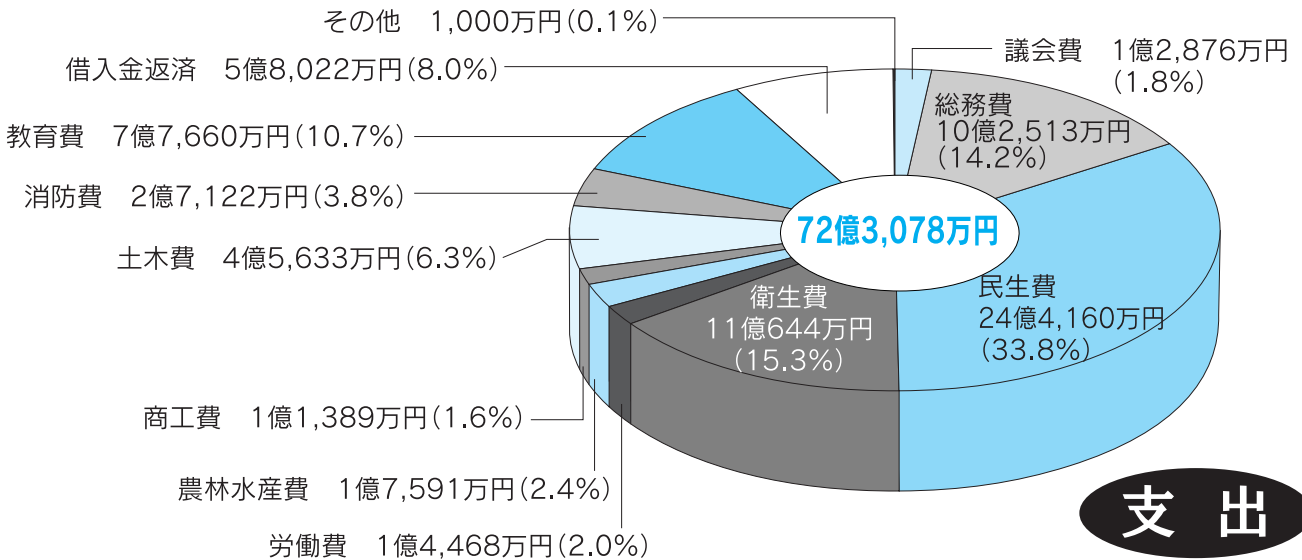
### 自主財源 45.8%

## 収入



### 収入

- 分担金及び負担金 1億5,286万円(2.1%)
- 使用料及び手数料 1億3,238万円(1.8%)
- 繰入金 2億7,101万円(3.8%)
- 諸収入 1億7,061万円(2.4%)
- その他 4,174万円(0.6%)
- 地方譲与税 8,300万円(1.1%)
- 地方消費税交付金 2億3,000万円(3.2%)



## 支出

総予算規模は前年度比2.8%

# 一般会計 前年度比 3.6%増の

平成23年度

## 主な新規事業

- 元気な大河原っ子医療費助成事業 165万円
- 街路灯LED化工事 345万円
- 赤ちゃんステーション設置事業 348万円
- (仮称)仙南クリーンセンター整備負担金 563万円

### 『一般会計』

〔反対討論〕

松井美子 議員

住民のくらしを守り福祉の向上に努める自治体の責任をより重く受け止められなければならぬ状況だ。が、予算案は経営の視点から更なる行財政改革推進を具体化している。

① 統合ありきで不動保育所と第一光の子保育園を統合新築整備に保育所緊急整備事業費補助金2億2500万円を計上している。

② 家庭ごみの有料化の一方で大型焼却炉建設をすすめる負担金563万6000円計上。  
③ 根拠を示せない職員定数削減、人事評価実施はやめよ。

## 7会計予算額

(単位:万円)

会計名	予算額	前年度比較
一般会計	72億3,078万円	3.6%
後期高齢者医療特別会計	1億9,335万円	△ 10.4%
国民健康保険特別会計	21億 787万円	3.7%
介護保険特別会計	12億4,270万円	7.0%
地方卸売市場事業特別会計	666万円	133.4%
公共下水道事業特別会計	8億3,551万円	1.1%
水道事業会計	8億 388万円	△ 6.2%
合計	124億2,075万円	2.8%

# 総括質疑

今年度の予算はどう執行されるのか。有効に町民のため運用されるか、今回は3人の議員が質問しました。

堀江一男 議員

**問** 本年度から地域における様々な課題等について、地域と役場とのパイプの役割を果たす「地域担当職員制度」をスタートさせることあるが、具体的内容といつからスタートさせるのか。

**答** 環境・安全・おつきあいの、身近を大切にする住民自治のまちづくりにおける地域担当職員制度については、地域が抱えている課題解決を地域と行政が一緒になって考えることで、地域の活性化につながることを目指し、4月1日より制度をスタートさせることとしている。具体的な活動については、全ての区会に3名以内の担当職員を配置し「地域が行う活動の相談及び助言」、「地域の情報収集及び課題の把握」、「行政情報の提供」等の活動を行い、協働のまちづくりを進めるものである。

庄司 充 議員

**問** 保育施設については、待機児童の解消がされているが現在の幼稚園が保育園かの二者択一となっている。不動保育所の民間委託については平成23年度に実施する方針なのか。又、子ども園制度になった場合の対応は問題はないのか。

**答** 不動保育所の民営化については大河原町経営計画にも入れているが、平成23年度に社会福祉法人「光の子児童福祉会」が旧高等技術専門学校跡地に不動保育所が統合を計画している第一光の子保育園を移転新築することとしている。また、子ども園になった場合の対応については特に問題は無いものと感じており、今国会に法案が提出されていることから、国会の方向性等を注意深く見守りたい。

万波孝子 議員

**問** (1)障害者の働く場の確保に向けて、支援施設等の誘致に強力に取り組みとあるが、支援施設等の中身と誘致場所について。(2)みやぎ県南中核病院の充実に図るため、平成24年度開設を目指している腫瘍センターと救命救急センターの総事業費と町の負担額は。(3)国が推進する国民健康保険の広域化をどう思うか。



▲腫瘍センターと救命救急センターを開設する中核病院

**答** (1)仙南地域の社会福祉法人から生活介護施設建設の申し出があり、定員30人、建物面積は255坪、候補地は旧町立病院跡地。(2)総事業費は28億3411万2千円。町の負担金は3億58338万円。(3)運営が困難な状況下において必要と思うが、国民健康保険の抱える構造的な問題もあり、それが単純に広域化で解決するとは考えていない。

## 議案審議

### 医療費助成を段階的に拡充

適正な医療機会の確保、子育て家庭の経済的負担の軽減などを目的に、中学生の入院時の医療費を助成する。

**問** 今回は入院時のみだけであるが、医療費全部を助成することは考えなかったのか。

**答** 高額になりやすい入院時の医療費をまず考え、これまでの医療費助成制度では所得制限があったが、これは制限がないものである。

(全員賛成で可決)

## 人事案件

人権擁護委員に適任

猪野 稔 氏



(全員賛成で適任)

## 3月定例会

### 一般会計

### 主な補正予算

(第6号)

収入	
地方交付税	△435万円
障害者福祉費国庫負担金	650万円
前年度繰越金	5641万円
町債(借入金)	△2530万円
支出	
財政調整基金	1億6930万円
窓口機器賃借・保守	△2406万円
下水道事業繰出金	△1872万円
職員人件費	△1833万円
退職手当負担金	△1200万円



# 一般質問

一般質問とは、町長に対して事務の執行状況や将来に向けての考えなどをたずもの。今回6人の議員が行った。

堀江一男 議員 ..... P⑥

- 世代交流センターについて

丸山勝利 議員 ..... P⑥

- 国道4号線の拡幅に伴う地域振興は

万波孝子 議員 ..... P⑦

- 不動保育所を民営化し、第一光の子保育園と統合し、200名定員にする計画について
- 「新公共交通システム導入事業」について(掲載外)
- 住宅リフォーム(持ち家)助成制度の実施に向けて(掲載外)

山崎 剛 議員 ..... P⑧

- 東原町13番地先交差点に信号機の設置と交差点のバリアフリー化を

岡崎 隆 議員 ..... P⑧

- 第5次長期総合計画・基本構想に基づく今後の町づくりの課題について

松井美子 議員 ..... P⑨

- なぜ学校給食センターの共同設置を検討するのか
- 特別養護老人ホームの増床への取り組みは(掲載外)
- 災害対策について(掲載外)

# 町政への提言

## Q & A





丸山勝利 議員



堀江一男 議員

## 世代交流センター について

### 問

(1)この建物の賃貸契約期間は、今年の3月までと聞いているが、その後どうするのか。また、中学生や高校生も利用できる新たな「世代交流センター」をつくる考えはないか。

### 答

(1)全員協議会で説明したとおりの考え方に変わりはなく、建物は相手方で解体し、町は更地の状態で土地を取得することで協議は整っている。土地に係

る金額については、不動産鑑定の結果が出ており、この評価額について相手方に伝えており、今後、取得金額について協議に入る段階になっている。

(2)旧町立病院跡地利用については、ハローワークの移転断念を受けて、本町における公共施設の全体的な配置予定も含め、現在検討を進めている。旧町立病院跡地は、立地条件や敷地内にある埋設杭等を考慮すれば、

公共施設での利用が望ましいのではないかと考えに至っており、その利用の一つとして、子育て支援と障

がい者支援機能を合わせた形での土地利用といったことも考えている。また、その中に中学生や高校生が利用できるスペースなどの世代交流機能の付加については今後の検討課題と思うが、

広場のある  
世代交流センターを

ちょっと  
ひとこと



▲旧世代交流センター

## 国道4号線の拡幅に伴う地域振興は

### 問

国道4号線の拡幅事業が始まり、完成開通の見通しがたってきた。これにより、大河原町の国道4号線がすべて4車線化され、渋滞緩和に大きな進展がな

めていくのか。

国道115号線が小山田地区を通るルートから新寺、新開地区を通るルートに移行された場合、町道となる蔵王町境から国道4号線ま

金ヶ瀬地区の地域振興や農業、雇用（高齢者や障がい者等）考えた場合、今後も道の駅を選択肢から外すことなく、大いに地域振興策を議論していくことが大事

### 答

地域経営の視点に立つて、様々な角度から議論・検討していきたい。町において歩道整備等も検討していきたい。



万波孝子 議員

## 不動保育所を民営化し、 第一光の子保育園と統合し、 200名定員にする 計画について

**問** (1) 不動保育所と第一光の子保育園を統合民営化し、200名規模の保育園を新設する計画に対し、不動保育所の保護者会では、25項目の質問と要望書を町長に提出した。  
(2) なぜ、不動保育所を民営化しなければならないのか。200名規模できめ細かないい保育ができるのか。  
この計画を今から変更できないか。  
(3) 朝夕の送迎車の混雑が予想されるが大丈夫か等々である。保育関係者や町民の間でもこの計画を懸念する声や見直しを求める声が出ている。公的責任で保育の充実を求める立場で伺う。保護者に対し統合・民営化

**答** (1) (2) 先日、説明会を開催した。今後も1年以上の期間をかけて説明し、の正式な通知は、昨年12月に初めてあつたばかり。先に結論ありきで保護者や町民無視と言えないか。保護者会からの不安や要望にどう応えるのか。200名は子どもに目が届かない保育士同士の意志疎通が難しい等保育者からも懸念の声が出ているがどう考えるか。  
(4) 交通安全面から建設場所は適さないと思うがどうか。統合ではなく第一光の子は西側に、不動保育所は建て替えをが最良と思うが考えは。



▲整備が進む国道4号線周辺

される。  
また当町を横断する県道115号線（蔵王角田線）は、小山田地区を通るルートから新寺、新開地区を通るルートに変更される。  
国道4号線拡幅に伴い、金ヶ瀬地区の国道4号線沿いの整備をどう考えているか。また地域振興をどう進

での今後の整備をどう考えているのか。  
〔仮称〕道の駅おおがわら整備事業の撤回を求める「請願書」が出され、金ヶ瀬道の駅調査特別委員会で採択され、本会議において議決が行われ、賛成多数に至らず、議長裁決により可決となつたが、大河原の発展、

なことではないか。「道の駅」という名前が出ただけで議論が止まってしまう、議論が出来ないのはいかがなものか。賛成多数に至らず可決同数なのだから、今後も議論していく事が大事ではないか。

保護者・保育士・町民の声を  
もっと重視してすすめるべき!  
ちよつと  
ひとこと



▲24年度から民営化される不動保育所

(4) 西側建設は時間的・財源的に厳しい。不動も老朽化と財政の効率性から統合する。

道の駅 必要・不要?  
ちよつと  
ひとこと



岡崎 隆 議員



山崎 剛 議員

## 「東原町13番地先 交差点に信号機の設置と バリアフリー化を」

**問**

(1) 仙南東部広域農道が  
開通すれば、東新町交  
差点からかなりの車両が丑  
越区、上川原区の住宅街に  
往来すると思われる。安心  
安全面で東原町13番地先交  
差点に信号機の設置を。栄  
町交差点から郵便局前の交  
差点まで歩道の段差等をバ  
リアフリー化に施設整備を  
求める。町長の見解を伺つ。  
(2) 通学路の安全確保の対策  
と指導は。  
(3) スクールゾーンのカラー  
化、標識等の設置は。  
(4) シニアカーを購入する高  
齢者、障がい者の方への補  
助対策の考えは。

**答**

(1) 信号機設置は、宮城  
県公安委員会の所管で  
あり、警察署と協議検討す  
る。歩道の段差解消につい  
ては、県道接続や排水処理  
の関係で解決出来ない  
ものであり、調査検討して  
いく。  
(2) 毎年通学路検討委員会を  
開催し交通安全施設の整備  
に努めている。登下校時の  
歩行及び自転車の実技を含  
めた安全指導を行なってい  
る。自転車通学の許可範囲  
は、西部地区、西住町、東  
部地区、丑越緑町、堤、新  
寺新開地区となっている。  
(3) 事故の多い交差点箇所は

着色標記をし、町の所管は  
警戒標識だけであり、規制  
標識は警察に要請する。  
(4) シニアカーを運転する方々  
の安全確保の問題や、交通  
渋滞の要因になる事も予想  
される。近隣市町の状況、  
警察等の考えを聞き検討す

千里の道も一歩から  
ちよっと  
ひとこと



▲東原町13番地先交差点付近

### 第5次長期総合計画・基本構想に基づき 今後の町づくりについて

**問**

先月21日の臨時議会に  
おいて、第5次長期総  
合計画・基本構想が可決承  
認された。  
前回の第4次の策定時と  
は異なり町民生活は様々な

**答**

(1) 公共施設の省エネ化  
等実施計画を策定し順  
次行っていく。  
(2) 交通安全指導員、地区防  
犯連絡協議会等において街  
頭活動、地域の見守り活動

**答**

(1) 公共施設の省エネ化  
等実施計画を策定し順  
次行っていく。  
(2) 交通安全指導員、地区防  
犯連絡協議会等において街  
頭活動、地域の見守り活動

を払しよくできず、資料を  
削除の上差し替えることと  
なった。





松井美子 議員

## なぜ学校給食センターの共同設置を検討するのか

**問** 老朽化した学校給食センターを近隣市町との共同設置も考慮し新設を検討するとしている。(1)共同設置を考慮する理由は。(2)近隣市町とはどこを指すのか。(3)平成23年度中の検討が予定されている。(4)現在は町内小学校3校、中学校2校の約2000食対応だが倍以上の対応が求められることになる。管理運営はどうなるのか。(5)北海道での学校給食によると考えられる集団食中毒は広域化と効率性が求められ集約された大型施設の問題が端的に表われたもの。

**答** (1)この報道をどう受け止めたか。(2)児童生徒の健全な成長を保障する安全な学校給食の提供に町はどう責任をはたすのか。(3)学校給食での農商連携が断たれるのではないか。(4)保育所で給食の外部搬入ができるようになったが保育所への給食提供も考えに入っているのか。(5)子どももの貧困については何も触れられていない。保育所民営化についても父兄からは不安、不満の声が多く寄せられたが町側はどのような対応をするのか。(6)先の臨時議会で議案審議中に一部資料が差し替えられた。何故このようなことに至ったのか。



▲「認め合い・支え合い・活かし合う」まちづくりをめざして

要因で悪化している。地方分権社会を見据えた取り組みが町には求められているが『認め合い・支え合い・活かし合う』開かれた先進の町、大河原を実現するためには環境、学童の安全と健全育成、産業振興、議会との関係等、町側には多岐にわたり課題があると考え

の更なる展開を図っていく。(3)児童養育家庭への援助の更なる充実を図り、不動保育所の問題では保護者、住民へ誠意をもって対応します。(4)『道の駅』事業は町長として大いに議論すべきと今も考えているが、どうしても道の駅ありきという懸念

すべきと考えている。共同設置について現段階で近隣の計画や考えは確認していないし協議も行っていない。今後の検討課題だ。安全で安心な学校給食の提供はどんな対応でも基本と考えている。産業振興からも食材供給については地産地消を更に進める努力をする。(5)考えてはいらない。

これが効率を求めて  
広域化を進める  
町政経営の一面だ。  
ちょっとひとこと

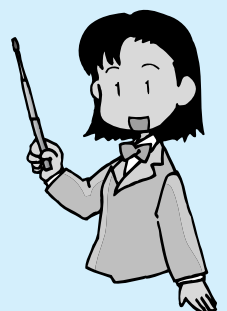
これからも住みよい  
安全な美しいまちで  
ありますように。  
ちょっとひとこと



▲学校給食センター調理の様子

## 2月臨時議会

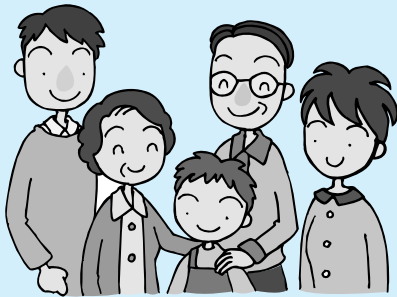
## 第1回臨時会は2月21日に行われ、向こう10年間のまちづくり計画を定める。



■「大河原町経営計画（第5次長期総合計画）基本構想」の他、2議案を審議し、原案どおり可決した。

■認めあい、支えあい、活かしあうまちをめざして。

平成23年度からスタートする「大河原町経営計画」は、47名の町民の方が「コラボ委員」として参加し、完成させた。経営計画としたことは、町民全員がまちづくりに参加・協働するという観点から、全員が町の経営者としての意識と行動と責任を求めることで、自らが自らを治めることを目的として名称づけられた。



万波孝子 議員

問 (1)保育所の統合・民営化計画について、保護者や住民に理解を求める説明もせず計画にのせてくるのは、一方的で町長が言う住民参加に反しないか。

答 (2)道の駅計画を撤回する請願が採択されているのに「道の駅事業」が明記されているのは、住民・議会無視ではないか。撤回すべきである。

問 (3)仙南地域の連携事業等の推進とともに、広域（地域間）連携等にも積極的に参加とあるが、市町村合併の検討等にもという意味か。

答 (1)書面一枚で理解してもらおうという事ではなく、これから一年数ヶ月かけて統合計画の内容について説明会を開いて理解をして頂く。

(2)議会の議決については重

く受け止めている。基本構想に直接関わるものでもないので、今後、大いに議論して頂くということではないかと思う。

答 (3)基本構想には合併という表記はされていないが、合併は町づくりの手段として多様な議論が必要であり、広域的な課題解決の為に地域全体をみながら議論する。

柘 和也 議員

問 基本構想の判断資料の基本計画に道の駅事業を載せている。道の駅はいろいろな請願を可決した議会軽視であり、経営主体の町民の意向を重視する姿勢ではない。

答 道の駅は要らないのか要るのかだけで議論を終える訳にはいかないのが基本姿勢だ。町長には提案権がある。

堀江一男 議員

問 請願採択の後も機会ある度に道の駅にふれた発言をしている。採択した我々議員の任期中は道の駅発言はしないように。合併前提での道の駅構想は今だに効力があるのか。

答 議決権は議会にある。政策的議論を加えながら立案し議事に提案する町長としての権利を放棄する訳にはいかない。

佐藤 巖 議員

問 議会での請願採択はわずか1票差だった。仙南地域の重要ポイントの当町に産業振興の呼び水、道の駅に限らず何かは必要だ。

答 エリア全体が今後の町づくりでさまざまな可能性を持つている。利用方法について議論を深めることが大河原らしき発揮につながる。

〔賛成討論〕

山崎 剛 議員

人口減少時代の到来を見すえて当町の地域性を考えての構想だ。住民参画のコラボ会議とパブリックコメントの提言を取り上げ、住民目線を重視した内容になっている。合意形成や手続きのあり方は常に議論しながら進めていくと明記されている。まちづくりには基本構想が必要十分条件であり方向性を示すもの。

〔反対討論〕

松井美子 議員

構想は個人の尊重を社会にとって問題のごとく描き、基本理念とかけ離れている。構想の名称を経営計画とし、効率性や広域連携を強調して一層行財政改革を推進する方向を打ち出している。①撤回を求められている道の駅設置事業への道を残している。

② 一方的な不働保育所の民営化、廃止の強行内容だ。

③ 更なる職員数削減と人事評価の本格導入の明示。

〔反対討論〕

岡崎 隆 議員

基本構想ではある程度町民の意見を汲み取ってはいるが、資料編には道の駅事業が載っている。5275名の署名を添えた請願が議会で採択された「当町に道の駅はいらない」の結論が出たはずだ。これでは議会軽視、住民無視で民主主義の根底を揺るがすことにつながる。保育行政等には町の説明不足による町民の不安や不満の声が多数ある。

賛成議員 (8名)

- 丸山 勝利
- 佐藤 貴久
- 山崎 剛
- 平間 孝士
- 庄司 充

反対議員 (6名)

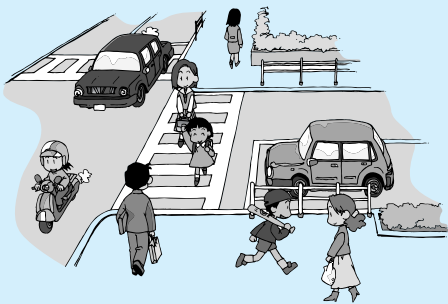
- 秋山 昇
- 佐藤 巖
- 安藤 征夫
- 岡崎 隆
- 堀江 一男
- 半澤 敏美
- 松井 美子
- 万波 孝子
- 枘 和也

〔他の議案〕

大河原町新公共交通システム整備基金条例の制定

平成22年度一般会計補正予算 (第5号)

〔全員賛成で可決〕



所管事務の調査報告

産業建設常任委員会

国道4号4車線化に伴う

下水道の進捗状況。

汚水事業3箇所、雨水事業2箇所の現場を視察した。汚水・雨水管渠築造工事は予想以上の進捗状況であった。人口が張り付いている地域の下水道はほぼ完備されてきているので、今後今回の調査地域に限らず、町の浸水状況を把握し、地域の整備課と連携を図りながら、計画的に雨水対策を講じるよう提言した。

総務文教常任委員会

図書発刊物(町史など)

在庫状況・今後の取り扱い。

文化財関係図書は、12種類発刊されており21年度末で130冊から多いもので2000冊以上残っている。また町史においても通史編・諸史編は500冊以上、通史統編も約500冊が残っている状況である。今後、文化財めぐりなど企画し配布及び使用し、町史については、新築転入者などに配布・特別価格などで販売してはどうか提言した。

議会活動日誌

今回は1月・2月・3月の活動報告をいたします。

1月

26日 町村議会議員講座(仙台市)

2月

1~2日

常任委員長研修会(蔵王町)

3月

- 8日 産業建設常任委員会
- 14日 総務文教常任委員会
- 21日 第1回臨時会本会議
- 2日 議会運営委員会
- 3日 第2回定例会本会議
- 9日~17日 全員協議会
- 31日 定例会本会議
- 議会広報委員会



桜町三区 田中重男



3月11日午後2時46分マグニチュード9.0の国内観測史上最大の地震は巨大津波を引き起こし、沿岸地帯をのみ込む空前絶後の大惨事が起こりました。

翌12日朝石川桜町三区区长から午前7時に桜町三区役員西桜集会所集合の旨連絡があり、大震災による停電断水の非常事態に区民のためにおにぎりの炊き出しを西桜集会所で行うことになりました。

炊き出し用釜セット(30kg用)は平成20年度に防災用として備え付けました。通常は区民レク大会の芋煮作りに使っていました。早速白米130kgプロパンガス(50kg入)一本の購入班、飲料用水を大河原中学校給水場所への水汲み班、炊き

出し用釜の設置班、それぞれ役員が手分けして行いました。

洗い物用水は井戸水を分けてもらいました。

おにぎり作りは民生委員、福祉委員の方に声がけてもらいお手伝いを頂きました。

12日は朝昼夕の3食の炊き出しを行いました。それぞれ配布時間を決め30分前から区民に広報車で周知しました。

13日は朝夕2食の炊き出しをして終えることにしました。

今回の炊き出しを通して区民の方々に桜町三区会が区民のためにあることを認識して頂き、地域力の向上につながれば幸いです。

### 6月議会のお知らせ

議会を傍聴しませんか

招集日 6月15日(水)

再開日 6月21日(火)

詳細は議会事務局まで

☎53-2800

## 議会広報編集委員会

議会広報編集委員の任期は2年。次回号からメンバーは変わりますが、この2年間議会の様子を正確に「いかに分かりやすく、親しみやすい紙面にするか」スタッフ一同、研修や講座に積極的に参加し知恵を集めて作業に取り組んできました。今後一層、身近な「議会だより」を目指してまいります。



## 街かど ワンショット



3月11日未曾有の大災害東日本大震災による津波により、甚大な被害を受けた亘理、山元地区の子供たちにと、大河原小学校PTAでランドセルや衣服、学用品などをPTA会員に募ったところ、多くの支援物資が集まり無事届けることが出来ました。集められた心のこもった支援物資のワンショットです。

## 編集後記

東日本大震災において特に、海岸沿いの市町村では未曾有の大被害を受けるとともに、多数の死者及び行方不明者が出ましたことに対して心よりお見舞い申し上げる次第です。また、当町出身者の死亡者もおられ、ご冥福を祈るばかりです。

この大震災で、地区防災組織はどう機能したか。安否確認はどうだったか。また、原子力発電の安全性と電力の問題等、多くの教訓を残しました。「想定外」をもう一度考えてみたい。

(堀江)

### 編集発行責任者

議長 佐々木守伸

### 議会広報編集委員

委員長 万波 孝子

副委員長 堀江 一男

委員 岡崎 隆

丸山 勝利

松井 美子

和也